

2021年度の山口大学の国際交流活動



山口大学国際戦略室



【植樹記念碑より抜粋】

このイングランドオークの樹は駐日英国大使グレアム・フライ閣下より山口大学とロンドン大学の交流促進を祈念してエリザバス女王陛下がお手植えになったオークの幼木を贈られたものである。

平成十九年七月吉日

目次

はじめに	1
第1章 2021年度の国際戦略室の活動	2
1. 国際戦略室の組織と役割	3
2. 山口大学 HP「トピックス」で見る 2021年度の本学の国際連携活動	3
3. 国際交流協定	9
(1) 2021年度の国際交流協定の締結等	9
(2) 大学等間国際交流協定	9
(3) 部局等間国際交流協定	13
4. 海外拠点	16
5. 本部への海外からの来訪者	17
6. 本学学長の海外訪問	17
7. 海外協定校・国際ネットワークとの連携	17
8. 研究者の交流	18
9. 職員の研修	18
10. 学内の国際化推進体制の整備	20
11. 海外同窓会活動	21
第2章 2021年度の留学生部門の活動	22
1. 留学促進のための環境整備	26
2. 海外学生交流促進のための広報活動	26
3. 留学生センターにおける学生派遣	26
第3章 2021年度の学術研究部門の国際交流活動	28
独立行政法人日本学術振興会助成	29
1. 二国間交流事業共同研究・セミナー	29
【共同獣医学部 度会 雅久 教授】	
第4章 2021年度の各部局の国際交流活動	30

はじめに

山口大学は「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」を理念として、人間力とバイタリティーあふれる人材を輩出できる大学、教員と学生が共に育つ「共育できる大学」を目指しています。この「共育」には、大学と地域が連携してグローバル化の中で共に学び発展すること、留学生や研究者を迎え、送り出すことによって、それらの国々と日本が相互の理解を深め、協力し合って平和で持続性のある世界を目指して手を携えるという意味も含まれています。これらの認識に基づき、本学はグローバル化を総合的に推進するとともに、留学生を含む全ての大学人が、互いの歴史、文化、民族、言語、宗教などの違いを超えて、共感・共鳴・協奏できる「ダイバーシティ・キャンパス」の実現を目指しています。

山口大学は、大学グローバル化推進に際し、学長のリーダーシップが十分に発揮できる意思決定及び組織体制を構築するため、2016年6月に「国立大学法人山口大学における国際戦略に関する規則」を制定し、学長のリーダーシップのもと、国際戦略室は関連する学内外の組織とも連携を深めながら、大学の国際化について様々な議論を重ね、大学グローバル化に向けた活動を推進しております。

2021年度は2020年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大学の国際交流活動は大きく制限を受けました。このような状況下でも、オンラインを活用した学生交流やセミナーの共同開催など、各部局で国際交流活動を実施してまいりました。一方で、2020年度以降禁止していた学生の海外渡航については、2021年7月に派遣先の感染状況、医療体制等を検証し、長期留学から海外派遣を再開することを決定しました。今後はオンラインも引き続き有効に活用するとともに、感染症対策を講じながら実渡航を伴う国際交流活動の再開に取り組んでまいります。

本報告書では、第1章にて本学における国際化に向けた取り組みを2021年度の国際戦略室の活動をもとに取り纏め、留学生部門、学術研究部門にて実施された国際交流事業をそれぞれ第2章、第3章に掲載いたしました。また第4章には、各部局の国際活動の取り組みを掲載しております。

この報告書により、学内のみならず本学に関係される多くの方々、大学を取り巻く地域の方々に、本学の国際化の状況について広く知って頂く一助になれば幸いです。同時に、報告書をお読み頂いた方々から、多くの貴重な意見を頂くことができれば、本学の国際化推進に役立つものと期待しています。これからも大学内外の関係者の皆様にお知恵をお借りしながら、積極的に山口大学の国際化を推進してまいりますので、皆様方の力強いご支援をお願いいたします。

国際戦略室

第 1 章 2021 年度の国際戦略室の活動

1. 国際戦略室の組織と役割

2016年5月30日に、本学における教育、研究及び社会連携活動のうち国際的な活動に係る戦略の企画、立案及び実施に向けた方策を決定するため、「国立大学法人山口大学における国際戦略に関する規則」を制定した。本規則により、本学の国際戦略に関しては学長が決定を行い、国際戦略に基づいた本学の教育研究の国際交流及び研究成果を基盤とした国際社会への貢献を推進するため、山口大学国際戦略室が置かれた。

国際戦略室は、国際連携担当副学長及び教職員を構成員とし、以下の業務を行う。

- (1) 本法人の国際連携に係る企画、立案及び実施に関すること。
- (2) 国際交流に関する情報の収集、整理及び提供に関すること。
- (3) 国際協力・国際貢献活動に関すること。
- (4) 国際交流協定に基づく活動の推進に関すること。
- (5) 海外に向けた本学の国際交流に係る情報の発信に関すること。
- (6) その他前条の目的を達成するために必要な事項

毎月1回構成員による国際戦略室会議を開催し、上記業務に関する事柄について協議及び情報共有を行っている。

また、国際戦略室の活動を支援する事務組織として、学生支援部国際交流課が置かれ、国際戦略室と共に本学の国際化に関する企画立案及び実施を担っている。

2. 山口大学 HP「トピックス」で見る 2021 年度の本学の国際連携活動

○オンライン留学フェア（日本留学海外拠点連携推進事業（サブサハラ・アフリカ）主催）に参加しました

8月3日（木）から9月10日（金）にかけて開催中のサブサハラ・アフリカ地域対象オンライン留学フェアに参加しました。本留学フェアは、文部科学省委託事業「日本留学海外拠点連携推進事業（サブサハラ・アフリカ）」の受託機関である北海道大学の主催により、就学課程・分野別に期間を3回にわけて開催され、本学は8月25日（水）～27日（金）の文系大学院留学希望者向けフェアの期間中のうち、27日（金）に経済学研究科公共管理コースのプログラム紹介動画の配信、およびグループ相談会を実施しました。グループ相談会ではケニア等の国から6名の参加者があり、留学生が利用できる奨学金や山口の生活環境等の質問に対して、本学側の出席者である経済学部の馬田哲次教授、及び同学部大学院系の香川覚主任が回答しました。

本学は令和3年8月1日時点でサブサハラ・アフリカ地域から4名の留学生が在籍しています。本留学フェアをきっかけとして、同地域からの留学生増加に繋がることを期待しています。



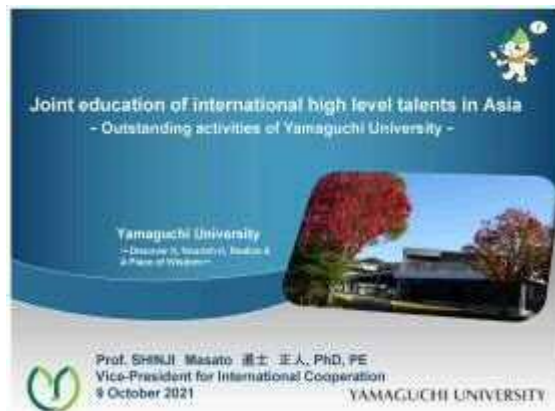
○「第3回山東フォーラム～学長フォーラム～」に参加しました

10月9日（土）、中華人民共和国の山東大学がオンラインで開催した「第3回山東フォーラム～学長フォーラム～」に、進士正人国際連携担当副学長が出席しました。同フォーラムは、山東大学創立120周年の一環として開催され、「ここ1世紀で経験したことのない大きな変化における東アジア地域の大学の交流および協力の強化」のテーマの元、本学を含む山東大学の協定校8大学の学長・副学長が出席し、情報交換を行いました。

山東大学・樊麗明（Fan Liming）学長の開会挨拶の後、各大学から、アジア地域の大学・研究機関と連携したグッドプラクティスの紹介があり、進士副学長は、本学の大学院レベルでの連携として、タイ・カセサート大学との国際連携農学生命科学専攻における国際共同学位プログラム、及びインドネシア・ウダヤナ大学との応用衛星リモートセンシング分野でのダブルディグリー・プログラムを紹介し、加えて東アジア地域における人文社会科学系分野での連携の可能性について提案しました。

その後のオープン・ディスカッションのセッションでは、「グローバル人材の育成」と「大学の科学技術イノベーションにより進められる地域産業の発展」の観点から、コロナ禍による各大学への影響とポスト・コロナ期への展望が各大学より語られました。

樊学長からは本学の人文社会科学系分野での連携について関心が示され、最後は東アジア地域の共通の課題として高齢化を挙げ、同じ地域に所在する大学同士で連携して課題に取り組むことへ期待を寄せられ、会を締めくくりました。



○駐日バングラデシュ経済公使が本学を表敬訪問されました

12月20日（月）に、駐日バングラデシュ人民共和国大使館から、サイード ナシル エルシャド経済公使が本学を表敬訪問されました。

本学では、12月1日現在で16名のバングラデシュ人留学生在籍しており、その多くは独立行政法人国際協力機構（JICA）の人材育成支援無償事業（JDS）による経済学研究科公共管理コースの大学院生です。加えて大学全体で3名の教員が在籍しており、バングラデシュは本学と関係の深い国の一つです。

表敬訪問では、岡正朗学長、進士正人副学長（国際連携担当）、富本幾文副学長補佐、およびモハメド アジズル モクスト創成科学研究科准教授と懇談されました。本学からは、経済学研究科を修了したバングラデシュ留学生在が母国で政府高官として活躍していること、ハラル食の提供や礼拝場所といった受入環境の整備状況等の説明がありました。エルシャド公使からは、同国の独立後50年の記念すべき年であり、日本とのこれまでの協力関係や現在の発展状況についてお話がありました。また、同国からの留学生の受入実績に対して感謝のお言葉をいただき、学長からは今後も幅広い分野での留学生受け入れについて、意欲が伝えられました。

その後、エルシャド公使は経済学研究科に移動し、同研究科に在籍する同国からの留学生8名と懇談されました。懇談会では、兵藤隆経済学部長からの挨拶の後、本学での留學生活の様子について留学生から近況報告があり、エルシャド公使は学生が勉学に励んでいる様子を聞き喜ばれるとともに、助言が行われました。最後は学生から、来学の記念品として本学のマスコットキャラクターであるヤマミィの人形をお渡しし、会が締めくくられました。



○在福岡タイ王国総領事館から本学に表敬訪問がありました

12月27日(月)、在福岡タイ王国総領事館から、ソールット・スックターウォン総領事、ソムチャイ・アンサナンスク領事、ポーンパン・プーピアンジャイ領事、及び永野瑞江アシスタントオフィサーが本学を表敬訪問されました。

本学ではタイの8大学・機関との大学間協定に加え、8大学との部局間協定を結んでいるほか、中高温微生物研究センターでは、長年共同研究を続けているなど、タイは本学と関係の深い国の一つです。

表敬訪問では、岡正朗学長、進士正人副学長(国際連携担当)、宮田浩文農学部長と懇談されました。本学からは、協定校であるタイのカセサート大学に、国際連携オフィスを設置し、相互交流の促進を実施していること、また、本学大学院創成科学研究科では、同大学とジョイント・ディグリープログラムを設置していることの説明がありました。総領事からは、本学がタイ人学生を継続的に受け入れ、日泰の架け橋となる人材を育成していることに感謝が述べられました。

その後、タイとの交流が深い農学部教員5名と、タイ人留学生2名との懇談を行いました。懇談後は、本学の中高温微生物研究センターを見学されました。

今回の表敬訪問を通して、本学について理解を深めていただくと同時に、本学の教員及び学生にとってもタイとの交流の可能性を広げる良い機会となりました。



○在広島大韓民国総領事館と下関韓国教育院から本学に表敬訪問がありました

2月7日(月)、在広島大韓民国総領事館から、イム・シフン総領事、ジョン・ソンヒョン副領事、チェ・ウンソク先任研究員、また下関韓国教育院からチェ・グァンスン院長が本学を表敬訪問されました。

表敬訪問では、本学と韓国との交流状況について、岡正朗学長、進士正人副学長(国際連携担当)と懇談を行いました。本学からは、工学部が実施している、SP!ED(Summer Program for Innovative Engineering Design)について紹介がありました。SP!EDは、毎年8月に実施される、日中韓3カ国の学生が一つの多国籍チームを組み、テーマに沿ったAI・IoT・ロボットシステムなどのプロトタイプを共同作業で企画・設計・製作・発表するプログラムです。韓国からは本学協定校の、忠北大学校、群山大学校等が参加しています。イム総領事からは、日本人学生の韓国語学習や文化への関心、また、韓国人留学生の在籍状況について

質問がありました。また、岡学長が米国に研究留学で滞在していた際に、同じ研究室に所属していた韓国人研究者と家族ぐるみの付き合いがあったこと等、ご自身の韓国との交流について話され、終始和やかな雰囲気での懇談が行われました。

今回の訪問により、本学と韓国の大学等の交流が、より一層発展することが期待されます。



○獣医学研究における連携強化のための「第6回 AJIVE シンポジウム」が開催されました

インドネシアの獣医系大学と山口大学大学院連合獣医学研究科（共同獣医学部・共同獣医学研究科）の教育・研究交流を図るため、2017年から始まった本シンポジウムも6回目となりました。当初は主催大学である山口大学においてハイブリッド（国内大学対面、インドネシア大学オンライン）で実施予定でしたが、新型コロナウイルスによる状況を鑑みて、国内大学参加者も含め完全オンラインで2月11日（金）に開催しました。

今回は、オンライン開催にもかかわらず、インドネシアから11大学、日本からは山口大学、鹿児島大学、鳥取大学、岐阜大学、宮崎大学、東京農工大学、岩手大学の7大学から合計350名をこえる参加者がありました。当日は、オープニングセレモニーとして、山口大学の岡正朗学長、進士正人副学長（国際連携担当）およびインドネシア獣医大学協会長の Teguh Budipitojo 教授（IPB 大学）の挨拶にはじまり、佐藤晃一共同獣医学部長（山口大学）と Aris Junaidi 教授（インドネシア文部科学省）のキーノートスピーチと下田宙准教授（山口大学）によるキーノートプレゼンテーションが行われました。その後のシンポジウムは、すべてリアルタイムのオンライン発表として開催され、一般演題66演題について、3つの部屋に分かれ、それぞれの演題について活発なディスカッションが行われました。

本シンポジウムは、日本とインドネシア双方の教員の共同研究関係を確立して発展させること、インドネシアにおける次世代の教員候補者が、日本において学位取得するための協力関係を築くことを目的として設置されているため、Deans meeting では、学生交換留学プログラム、相互教育システム構築などについて話し合わせ、今後も協力関係を進展させていくことが確認されました。

最後に、次回のシンポジウムは、来年（2023年）2月にインドネシアの Hasanuddin University で開催することが了承され、盛会のうちに終了しました。



○第2回山口大学国際同窓防災・環境オンラインセミナーが開催されました

3月7日（月）、WEBにて「第2回山口大学国際同窓防災・環境オンラインセミナー（The 2nd International Alumni Online Seminar on Disaster Prevention and Environment）」が開催され、（地域防災・減災センター主催，山口大学工学部社会建設工学科，グローバル環境・防災学研究会共催）アフガニスタン，インドネシア，中国，日本，バングラデシュ，東ティモール，ベトナムの7か国から64名が参加しました。本セミナーは，海外から山口大学に留学し修了後各国で活躍されている卒業生と在学生の交流の場を提供し，また各国それぞれが抱える地方レベルの災害や環境の問題を共有し，解決のための国際的な研究協力関係を強化することを目的として開催するもので，昨年3月に引き続き2回目の開催となりました。

セミナーは招待講演，2021年4月に東ティモールで発生した洪水災害に関する特別セッション，山口大学在学生・卒業生による口頭発表セッションの3部構成で行われました。招待講演（座長：工学部社会建設工学分野准教授／地域防災・減災センター山本浩一）では，山口大学副学長（国際連携担当）の進士正人教授より山口大学における国際連携の現状とウィズコロナにおける今後の展望についてご講演いただきました。続いて山口大学国際戦略室副室長の富本幾文教授より，自然災害や環境破壊による被害は社会的弱者にとってより深刻であることから，SDGsと防災に関する目標との関連についてご講演いただきました。

各国の防災，環境の分野で活躍する卒業生と在学生，教員，その他の参加者が互いに問題点などを共有できた有意義な会となりました。



3. 国際交流協定

(1) 2021 年度の国際交流協定の締結等

2021 年度は国際交流協定を 4 大学(大学間・学部間) と締結し, 19 の大学・機関(大学間 11 大学・機関, 学部間 8 大学・機関)と更新した。

その結果, 2022 年 3 月末現在で, 山口大学は大学等間では 23 カ国・地域の 107 大学・機関と国際交流協定を締結し, 学部等間では 9 学部, 4 研究科が 26 カ国・地域の 67 大学・機関と国際交流協定を締結している。

(2) 大学等間国際交流協定

国・地域名	機関名 (英語表記)	締結年月日	学生交流覚書
インドネシア	ブラウィジャヤ大学 (Brawijaya University)	2008.04.15	有
	ガジヤマダ大学 (Gadjah Mada University)	2008.10.14	有
	ボゴール農科大学 (IPB University)	2010.03.10	有
	ウダヤナ大学 (Udayana University)	2010.03.25	有
	バンドン工科大学 (Bandung Institute of Technology)	2012.05.25	有
	インドネシア大学 (University of Indonesia)	2015.12.16	有
	地理空間情報庁 (Geospatial Information Agency)	2016.07.20	
	財務省財政均衡総局 (Directorate General of Fiscal Balance, Ministry of Finance)	2016.01.21	
	シャリフ・ヒダヤトゥラー イスラム宗教国立大学 (Syarif Hidayatullah State Islamic University Jakarta)	2018.10.18	
	スブラス・マレット大学 (Universitas Sebelas Maret)	2019.10.10	
韓国	仁荷大学校 (Inha University)	1998.06.25	有
	公州大学校 (Kongju National University)	1999.03.15	有
	韓国外国語大学校 (Hankuk University of Foreign Studies)	2003.12.02	有
	慶尚大学校 (Gyeongsang National University)	2004.11.26	有
	ソウル市立大学校 (University of Seoul)	2009.12.21	有
	昌原大学校 (Changwon National University)	2010.02.10	有
	ソウル大学校 (Seoul National University)	2010.02.11	有
	亜州大学校 (Ajou University)	2010.03.08	有
	梨花女子大学校 (Ewha Womans University)	2010.03.08	有
	群山大学校 (Kunsan National University)	2010.04.26	有
	釜山外国語大学校 (Busan University of Foreign Studies)	2014.12.04	有
	全北大学校 (Chonbuk National University)	2015.09.16	有

国・地域名	機関名（英語表記）	締結年月日	学生交流覚書
韓国	忠北大学校 (Chungbuk National University)	2016.12.23	有
タイ	カセサート大学 (Kasetsart University)	1998.07.03	有
	ソンクラ王子大学 (Prince of Songkla University)	2001.10.29	有
	コンケン大学 (Khon Kaen University)	2001.10.30	有
	チェンマイ大学 (Chiang Mai University)	2001.10.31	有
	シーナカリンウィロート大学 (Srinakharinwirot University)	2001.11.01	有
	タイ国農学研究機構 (Agricultural Research Development Agency)	2008.08.27	
	チュラロンコン大学 (Chulalongkorn University)	2010.09.14	
	キングモンクット工科大学ラカバン校 (King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang)	2018.08.10	
	中国	山東大学 (Shandong University)	1983.06.02
北京師範大学 (Beijing Normal University)		2004.02.09	有
武漢理工大学 (Wuhan University of Technology)		2004.05.20	有
貴州大学 (Guizhou University)		2005.03.25	有
重慶理工大学 (Chongqing University of Technology)		2010.11.19	有
首都師範大学 (Capital Normal University)		2011.10.17	有
江蘇大学 (Jiangsu University)		2013.09.03	有
大連外国語大学 (Dalian University of Foreign Languages)		2013.12.30	有
西安交通大学 (Xi'an Jiaotong University)		2015.04.28	有
香港樹仁大学 (Hong Kong Shue Yan University)		2015.07.20	有
香港教育大学 (The Education University of Hong Kong)		2015.09.02	有
遼寧師範大学 (Liaoning Normal University)		2016.03.15	有
浙江理工大学 (Zhejiang Sci-Tech University)		2017.01.03	有
湖州師範大学 (Huzhou University)		2017.02.28	有
大連理工大学 Dalian University of Technology		2021.06.09	有
台湾		国立中興大学 (National Chung Hsing University)	2006.03.09
	東海大学 (Tunghai University)	2009.09.30	有
	逢甲大学 (Feng Chia University)	2009.09.30	有
	大葉大学 (Dayeh University)	2009.09.30	有
	靜宜大学 (Providence University)	2009.09.30	有

国・地域名	機関名（英語表記）	締結年月日	学生交流覚書
台湾	開南大学 (Kainan University)	2012.10.15	有
	国立高雄師範大学 (National Kaohsiung Normal University)	2014.11.18	有
	淡江大学 (Tamkang University)	2016.12.29	有
ベトナム	カントー大学 (Can Tho University)	2011.11.16	有
	ベトナム国立農業大学 (Vietnam National University of Agriculture)	2012.03.29	有
	ベトナム国家大学ホーチミン市校 国際大学 (International University - Vietnam National University in Ho Chi Minh City)	2015.07.21	有
	国立ハノイ教育大学 (Hanoi National University of Education)	2015.07.22	有
	東部国際大学 (Eastern International University)	2015.12.07	有
	ダナン科学技術大学 (University of Science and Technology, The University of Danang)	2017.07.05	有
マレーシア	サラワク大学 (University Malaysia Sarawak)	2012.03.29	有
	マレーシア工科大学 (University of Technology, Malaysia)	2012.09.05	有
	クアラルンプール大学 (University of Kuala Lumpur)	2016.07.13	有
	マラ工科大学 (University of Technology MARA)	2017.07.05	有
ラオス	ラオス国立大学 (National University of Laos)	2012.04.12	有
ミャンマー	イエジン農業大学 (Yezin Agricultural University)	2015.01.12	
イギリス	シェフィールド大学 (University of Sheffield)	1997.11.28	有
	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (University College London)	2007.11.19	
	セントラル・ランカシャー大学 (University of Central Lancashire)	2012.11.05	(協定書内に学生交流に関する記載有)
	エディンバラ大学 (The University of Edinburgh)	2018.11.12	
	バース大学 (University of Bath)	2019.08.05	有 (医学部)
ドイツ	フリードリヒ・アレクサンダー大学 エアランゲン・ニュルンベルク (Friedrich-Alexander University Erlangen-Nuremberg)	2003.03.17	有
	ホフ大学 (Hof University of Applied Sciences)	2015.03.16	有
	ベルリン・ボイト工科大学 (Berlin University of Applied Sciences and Technology)	2015.08.17	有
フランス	リール大学 (The University of Lille)	2015.10.16	有
	リール・カトリック大学 (Lille Catholic University)	2016.01.20	有
	ボルドー大学 (The Univeristy of Bordeaux)	2019.09.13	有

国・地域名	機関名（英語表記）	締結年月日	学生交流覚書
スペイン	サラゴサ大学 (University of Zaragoza)	2014.11.27	有
	バルセロナ自治大学 (Autonomous University of Barcelona)	2015.09.14	
	ハイメ I 世大学 (Jaume I University)	2017.10.26	有
ハンガリー	エトヴェシュ・ロラード大学 (Eotvos Lorand University)	2015.05.25	(協定書内に学生交流に関する記載有)
	カーロリ大学 (Károli Gáspár University of the Reformed Church in Hungary)	2015.08.18	有 (国際総合科学部)
ロシア	モスクワ大学 (M.V. Lomonosov Moscow State University)	2015.03.05	
	ロシア工科大学 (MIREA - Russian Technological University)	2015.11.26	
	ロシア国立農業大学 モスクワ・ティミリャゼフ農業アカデミー (Russian State Agrarian University - Moscow Timiryazev Agricultural Academy)	2017.09.07	
リトアニア	ヴァイタウタス・マグヌス大学 (Vytautas Magnus University)	2015.09.03	有
デンマーク	サザンデンマーク大学 (University of Southern Denmark)	2016.05.26	有
アメリカ合衆国	オクラホマ大学 (University of Oklahoma)	1996.02.19	有
	ハワイ大学ヒロ校 (University of Hawai'i at Hilo)	2015.02.25	
	中央フロリダ大学 (University of Central Florida)	2015.04.16	有
	カリフォルニア州立大学ポリテック大学ポモナ校 (California State Polytechnic University, Pomona)	2015.03.20	
	フィッチバーグ州立大学 (Fitchburg State University)	2015.12.21	有
	イーストウエストセンター (East-West Center)	2018.05.16	
	ハワイ大学カウアイ・コミュニティ・カレッジ (University of Hawai'i Kaua'i Community College)	2018.08.07	有
	マンハッタンビル大学 (Manhattanville College)	2016.07.19	有
	ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ (University of Hawai'i Kapi'olani Community College)	2019.05.13	
カナダ	リジャイナ大学 (University of Regina)	1996.02.07	有
チリ	コンセプション大学 (University of Concepcion)	2016.01.13	有
ブラジル	サンパウロ大学 (University of São Paulo)	2018.02.19	
	サンパウロ・ボンティフィシア・カトリック大学 (Pontifical Catholic University of São Paulo)	2018.02.27	
ペルー	ラ・モリーナ国立農業大学 (La Molina National Agrarian University)	2017.06.06	有
	国立サンマルコス大学 (National University of San Marcos)	2017.08.28	有
	サン・イグナシオ・デ・ロヨラ大学 (Saint Ignatius of Loyola University)	2017.08.29	有
	ペルー国家防災庁 (National Institute of Civil Defense (INDECI))	2017.08.29	

国・地域名	機関名（英語表記）	締結年月日	学生交流覚書
オーストラリア	ニューカッスル大学 (University of Newcastle)	2003.08.08	有
	シドニー工科大学 (University of Technology, Sydney)	2012.05.30	有

(3) 部局等間国際交流協定

国・地域名	締結部局	機関名	締結	学生交流
		(英語表記)	年月日	覚書
インドネシア	工学部	マランイスラム大学 医学部 (Faculty of Medicine, Islamic University of Malang)	2014.06.27	
		マランイスラム大学 農学部 (Faculty of Agriculture, Islamic University of Malang)	2014.06.27	
		マランイスラム大学 工学部 (Faculty of Engineering, Islamic University of Malang)	2015.07.31	
		リアウ大学 工学部 (Faculty of Engineering, Riau University)	2014.12.24	有
	共同獣医学部	アイルランガ大学 獣医学部 (Faculty of Veterinary Medicine, Airlangga University)	2018.07.04	有
	理工学研究科	国家防災庁 データ・情報・広報センター (Center of Data, Information and Public Relations, National Disaster Management Agency)	2016.01.21	
韓国	理学部	韓国天文研究院 電波天文研究部 (Radio Astronomy Division, Korea Astronomy and Space Science Institute)	2010.03.15	
	工学部	又松大学校 鉄道物流学部 (College of Railroad and Transportation, Woosong University)	2010.02.01	
	医学部	チェジュハラ大学看護学部及び保健学部 (The School of Nursing and school of Health Sciences Cheju Halla University)	2019.6.5	
タイ	医学部	マヒドン大学 看護学部 (Faculty of Nursing, Mahidol University)	2001.03.26	
	農学部	キングモンクット工科大学 トンブリ校 生物資源工学研究科 (School of Bioresources and Technology, King Mongkut's University of Technology Thonburi)	2006.05.23	有
		タクシン大学 技術・地域開発学部 Faculty of Technology and Community Development, Thaksin University)	2012.01.16	
		メージョー大学 農学生産学部 (Faculty of Agricultural Production, Maejo University)	2012.02.23	有
		ラジャマンガラ工科大学 農業産業技術学部 (Faculty of Agro-Industrial Technology, Rajamangala University of Technology Tawan-ok)	2013.07.11	有
		メーファールアン大学 理学部 (School of Science, Mae Fah Luang University)	2016.01.04	有
		スラナリー工科大学 農業技術学部・理学部 (Institute of Agricultural Technology, Institute of Science, Suranaree University of Technology)	2020.10.23	有
	工学部	シラパコーン大学 工学・産業技術学部 (The Faculty of Engineer and Industrial Technology, Silpakorn University)	2019.05.09	

国・地域名	締結部局	機関名 (英語表記)	締結 年月日	学生交流 覚書
中国	教育学部	復旦大学 情報科学工程学院 (School of Information Science and Engineering, Fudan University)	2005.09.23	有
	医学部	大連医科大学 (Dalian Medical University)	2006.12.14	
	工学部	上海交通大学 環境科学工程学院 (School of Environmental Science and Engineering, Shanghai Jiao Tong University)	2004.02.11	
		西華大学 (Xihua University)	2007.02.05	有
		四川大学錦江学院 (Jinjiang College, Sichuan University)	2019.06.20	有
	国際総合科学部	山東農業大学 外国語学院 (College of Foreign Languages, Shandong Agricultural University)	2016.03.15	有
	東アジア研究科	復旦大学 日本研究センター (Center for Japanese Studies, Fudan University)	2001.10.29	
	経済学部	復旦大学 日本研究センター (Center for Japanese Studies, Fudan University)	2019.11.04	
台湾	経済学部	国立高雄餐旅大学 (National Kaohsiung University of Hospitality and Tourism)	2012.03.09	有
	医学部	国立台湾大学 医学院 (College of Medicine, National Taiwan University)	2009.04.01	
	理学部	国立台湾大学 理学院 (College of Science, National Taiwan University)	2017.5.22	
		台湾師範大学 理学院 (College of Science, National Taiwan Normal University)	2016.12.30	
	教育学部	淡江大学 文学院 (College of Liberal Arts, Tamkang University)	2013.07.23	有
	人文学部	東呉大学 人文社会学部 (School of Liberal Arts and Social Sciences, Soochow University)	2014.09.19	
マレーシア	工学部	ペトロナス工科大学 (Petronas Technological University)	2018.10.11	有
		マレーシア・プトラ大学 (University Putra Malaysia)	2020.03.26	
		トゥンフセインオンマレーシア大学 (Universiti Tun Hussein Onn Malaysia)	2020.04.30	
モンゴル	共同獣医学部	モンゴル国立生命科学大学獣医学研究所 (Institute of Veterinary Medicine, Mongolian University of Life Sciences)	2015.11.13	
	工学部	モンゴル国立大学工学応用科学部 School of Engineering and Applied Sciences, National University of Mongolia	2021.05.10	有
	工学部	モンゴル国立大学文理学部 School of Arts and Sciences, National University of Mongolia	2021.05.10	有
ネパール	連合獣医学研究科	農業林業大学 畜産獣医水産学部 (Faculty of Animal Science, Veterinary Science and Fisheries, Agriculture and Forestry University)	2015.03.05	
	経済学部	ネパール行政職員大学 (The Nepal Administrative Staff College)	2020.01.24	
バングラデシュ	理学部	バングラデシュ核エネルギー食物・放射線生物学研究所 (Institute of Food and Radiation Biology, Atomic Energy Research Establishment)	2000.05.04	

国・地域名	締結部局	機関名 (英語表記)	締結 年月日	学生交流 覚書
バングラデ シュ	理学部	バングラデシュ核エネルギー食物・放射線生物学研究所 (Institute of Food and Radiation Biology, Atomic Energy Research Establishment)	2000.05.04	
	農学部	ジャハンギナガル大学 生物科学部 (Faculty of Biological Science, Jahangirnagar University)	2012.03.06	有
	共同獣医学部	バングラデシュ農業大学 Faculty of Veterinary Science, Bangladesh Agricultural University	2021.08.10	
ベトナム	共同獣医学部	ベトナム農業農村開発省畜産研究所 (National Institute of Animal Science, Ministry of Agriculture and Rural Development)	2012.07.24	
	理学部	フエ大学 理学部 (Hue University of Sciences, Hue University)	2017.04.18	有
スリランカ	農学部	スリランカ農業局及びペラデニア大学農学研究科 (Department of Agriculture, Sri Lanka & Postgraduate Institute of Agriculture, University of Peradeniya)	2016.03.03	
インド	経済学部	カルカッタ大学 経済学部 (Department of Economics, University of Calcutta)	2019.02.08	
		カルカッタ大学 商学・福祉・経営学群 (Faculty of Commerce, Social Welfare and Business Management, University of Calcutta)	2019.02.08	
	工学部	クルクシェトラ工科大学 (National Institute of Technology, Kurukshetra)	2017.01.11	
フィリピン	共同獣医学部	ダバオ・オリエンタル州立大学 海浜生物環境センター (Regional Integrated Coastal Resource Management Center-RegionXI of the Davao Oriental State University)	2019.09.23	
トルコ	工学部	シェヒル大学 工学・自然科学部 (College of Engineering and Natural Sciences, Istanbul Sehir University)	2017.04.19	有
	経済学部	カディル・ハス大学 経済・行政・社会科学部 (The Faculty of Economics, Administrative and Social Sciences, Kadir Has University)	2019.06.29	有
ウクライナ	教育学部	イヴァン・フランコ記念リヴィウ国立大学 (Ivan Franko National University of Lviv)	2004.11.16	有
イギリス	工学部	ブリストル大学 工学部 (Faculty of Engineering, University of Bristol)	2010.03.01	
ロシア	医学部	カザン医科大学 (Kazan State Medical University)	2012.12.17	
ポルトガル	工学部	新リスボン大学 理工学部 (Faculty of Science and Technology, New University of Lisbon)	2013.08.08	有
スペイン	工学部	カンタブリア大学 産業工学通信学部 (School of Industrial Engineering and Telecommunications, University of Cantabria)	2015.02.25	有
オランダ	農学部	ワーゲニンゲン大学 オランダ大遺伝資源センター (Centre for Genetic Resources, the Netherlands (CGN))	2017.04.01	
ケニア	共同獣医学部	ナイロビ大学 獣医学部 (Faculty of Veterinary Medicine, University of Nairobi)	2017.06.30	

国・地域名	締結部局	機関名 (英語表記)	締結年月日	学生交流覚書
アメリカ合衆国	国際総合科学部	エルジンコミュニティカレッジ (Elgin Community College)	2015.07.28	(協定書内に学生交流に関する記載有)
	医学部	シティ オブ ホープ (City of Hope)	2017.08.01	
	医学系研究科	カンザス大学 メディカルセンター (The University of Kansas Medical Center, The University of Kansas)	2017.08.11	
カナダ	医学部	ニューファンドランドメモリアル大学 (Memorial University of Newfoundland)	2019.07.09	有
アルゼンチン	農学部	ラプラタ大学 理学部 (Faculty of Science, National University of La Plata)	2011.04.27	
		公立ミシオネス大学 精密自然科学部 (Faculty of Exact, Chemical and Natural Sciences, National University of Misiones)	2018.10.16	
オーストラリア	共同獣医学部	西オーストラリア大学 農学研究科 (The UWA Institute of Agriculture, University of Western Australia)	2015.10.22	
ニュージーランド	農学部	ニュージーランド作物・食物研究所 (New Zealand Institute for Plant & Food Research Limited)	2008.09.03	
	経済学部	ワイカト大学会計・ファイナンス・経済学部 (School of Accounting, Finance, and Economics, The University of Waikato)	2019.09.20	

4. 海外拠点

本学では海外協定校の協力のもと、外国の教育研究機関との相互交流の推進及び本学の情報発信等を目的とし、6カ国・地域の計6ヶ所に国際連携オフィスを設置している。その内インドネシア、台湾、マレーシア、タイの4つの拠点事務所に現地スタッフを配置し、現地の優秀な学生獲得に向けた広報活動、本学派遣学生の留学支援や同窓会活動の支援等行っている。

また、本学の大学等間国際交流協定校であるガジャマダ大学（インドネシア・ジョグジャカルタ）に、両大学間で特に交流の深い獣医学分野を中心に本学のインドネシアでの拠点として、国際共同事務局を開設している。

- ① 「山口大学 山東国際連携オフィス」
住所：中国 250100 山東省済南山大南路 27 号 山東大学内
- ② 「山口大学 バリ国際連携オフィス」
住所：Udayana University
Jl.P.B Sudirman Campus Gedung FISIP 2F Denpasar Bali Indonesia
- ③ 「山口大学 台湾国際連携オフィス」
住所：台湾 51591 彰化県大村郷学府路 168 号 大葉大学内
- ④ 「山口大学 クアラルンプール国際連携オフィス」

住所：Malaysia-Japan International Institute of Technology (MJIIT)
 Universiti Teknologi Malaysia Kuala Lumpur Campus
 Jalan Sultan Yahya Petra, 54100, Kuala Lumpur Malaysia

⑤ 「山口大学 バンコク国際連携オフィス」

住所：Kasetsart University
 50 Ngam Wong Wan Rd, Ladyao Chatuchak Bangkok, 10900,
 Thailand

⑥ 「山口大学 ハノイ国際連携オフィス」

住所：Vietnam National University of Agriculture
 Trau Quy-Gia Lam-Ha Noi-Viet Nam

(国際共同事務局)

「山口大学・ガジャマダ大学国際共同事務局」

住所：Universitas Gadjah Mada
 Jl. Fauna No.2, Karangmalang, Yogyakarta, Indoensia

5. 本部への海外からの来訪者

日時	訪問者	国・地域
2021.12.20	駐日バングラデシュ人民共和国大使館 サイード ナシル エルシャド 経済公使	バングラデシュ 人民共和国
2021.12.27	在福岡タイ王国総領事館 ソールット スックターウォン 総領事, 領事, アシスタント オフィサー	タイ王国
2022.02.07	在広島大韓民国総領事館 イム シフン 総領事, 副領事, 前任研究員 下関韓国教育院 チェ グァンスン 院長	大韓民国

6. 本学学長の海外訪問

訪問日程	訪問先・内容（訪問者）	国・地域名
	※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により，実施無し	

7. 海外協定校・国際ネットワークとの連携

(1) 山東大学との連携

本学が40年近くにわたり交流を継続している山東大学で、創立120周年を祝う式典が開催され、その一環として開催された「山東フォーラム～学長フォーラム～」に国際連携担当副学長がオンライン出席した。フォーラムには本学を含む山東大学の協定校8大学の学長・

副学長が出席し、コロナ禍による各大学への影響とポスト・コロナ禍への展望について情報交換を行った。

(2) JICA・山口大学共催 国際協力 Talk Show

学生に国際協力や途上国について学ぶ機会を提供し、将来の国際協力人材の掘り起こしにつながることを目的として、独立行政法人国際協力機構（JICA）と共催でトークイベントを計 8 回開催した。イベントには多くの学生が参加し、国際協力について多くの質問が寄せられ、意見交換を行った。

8. 研究者の交流

大学の主要な活動である研究においては、海外でのデータの収集、海外機関との研究交流による研究の加速化と精度の向上は不可欠である。そのため、毎年多くの教員、研究者を海外に派遣し、また山口大学にも多くの海外の大学教員、研究者を受け入れている。2021 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響があったが、2 名の教員を上記の目的で海外に派遣することが出来た。また、外国人研究者の受入れに関しては、4 名を受け入れた。

※人数の把握は、「国立大学法人山口大学海外渡航事務取扱要領」及び「国立大学法人山口大学外国人研究者規則」による。

重点連携大学事業について

本学では、研究分野を主体とした国際連携活動を強化することにより大学の研究レベルの高度化を図ると共に、学術を通じた教育支援及び国際貢献を行うことを目的として、特に本学の研究力向上につながると期待できる海外の大学を重点連携大学として選定し、選定大学との国際連携活動に対して支援を行っている。

各研究グループにおいては、例年、本事業の主目的である「国際共著論文数」の増加を図るため、教職員及び学生の重点連携大学等との相互派遣を実施する等、共同研究及び人材交流を進めてきた。2021 年度に関しては、新型コロナウイルス感染拡大のため、このような相互派遣の実施は出来なかったが、オンライン等を活用し国際シンポジウムを開催するなど、各研究グループで交流を実施した。このような研究交流活動の成果として発表された国際共著論文は、2021 年度は 24 件であった。

9. 職員の研修

(1) 山口大学海外派遣 SD（スタッフ・ディベロップメント）研修

山口大学基金の支援を受け、毎年以下のとおり事務系職員を 1 週間程度海外に派遣し、海外の大学における管理方法、研究・教育支援体制を学ぶほか、職員の外国語能力の向上やグローバルマインドの醸成に努めている。2021 年度は、2020 年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、派遣を実施しなかった。

なお、SD 研修が開始された 2004 年からの派遣実績は次表のとおりである。

年度	派遣者数	派遣国	派遣大学
2004	2	アメリカ	オクラホマ大学
		イギリス	シェフィールド大学
2005	2	アメリカ	ハワイ大学
		イギリス	シェフィールド大学
2006	2	カナダ	リジャイナ大学
		ドイツ	フリードリヒ・アレクサンダー大学・エアランゲン・ニュルンベルク
2007	2	アメリカ	オクラホマ大学
		オーストラリア	ニューカッスル大学
2008	2	中国	山東大学・香港中文大学
2009	2	中国	山東大学
2010	4	中国	山東大学
		台湾	大葉大学ほか
		インドネシア	ウダヤナ大学
2011	3	中国	山東大学
		インドネシア	ガジャマダ大学
2012	4	中国	山東大学
		台湾	大葉大学
		インドネシア	ガジャマダ大学
2013	13	中国	山東大学
		台湾	大葉大学
		インドネシア	ウダヤナ大学
		ベトナム	ハノイ農業大学・カントー大学
		タイ	カセサート大学・ラジャマンガラ工科大学
2014	16	中国	山東大学
		台湾	大葉大学
		インドネシア	ウダヤナ大学・ガジャマダ大学
		オーストラリア	シドニー工科大学・ニューカッスル大学
		カナダ	リジャイナ大学
		タイ	チェンマイ大学・シーナカリンウィロート大学
		マレーシア	マレーシア工科大学・マレーシア日本国際工科院
2015	13	中国	山東大学
		台湾	大葉大学・東海大学・静宜大学
		タイ	チュロンコン大学・カセサート大学
		マレーシア	マレーシア工科大学・マレーシア日本国際工科院
		インドネシア	バンドン工科大学・ウダヤナ大学・国際交流基金ジャカルタ日本文化センター・インドネシア大学・ダルマプルサダ大学
		オーストラリア	ニューカッスル大学・シドニー工科大学
		イギリス	ブリストル大学・サリー大学・セントラルランカシャー大学・JSPSロンドン
		ドイツ	フリードリヒ・アレクサンダー大学・エアランゲン・ニュルンベルク
2016	9	中国	大連外国語大学・山東大学・APU上海オフィス
		台湾	大葉大学・国立中興大学・東海大学
		タイ	チェンマイ大学・カセサート大学・シーナカリンウィロート大学・チュロンコン大学
		インドネシア	インドネシア大学・ガジャマダ大学・ウダヤナ大学・APUジャカルタオフィス
2017	3	中国	山東大学
		タイ	チェンマイ大学・カセサート大学
2018	2	中国	山東大学
2019	3	中国	山東大学
		イギリス	パース大学、ブリストル大学、セントラル・ランカシャー大学
2020	0		※新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため実施なし
2021	0		※新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため実施なし

(2) 山口大学業務英語能力向上研修

本学では、外国人留学生及び研究者の生活、教育、研究の支援や、部局等の国際交流を担

当できる事務職員の育成を目指し、2010年度から、外国人対応の業務に必要なコミュニケーション能力の習得及び英語能力向上を目指し職員研修を行っている。

本学の第3期中期目標・中期計画に掲げた「TOEIC スコア 800 点相当以上の職員を 5% 以上とする」という数値目標を 2018 年度に達成したため、2021 年度は英語能力の高い職員が各部署でその能力を活用する上で、「話す」「書く」の実践能力を向上させるための研修として、2 日間の集中発話トレーニングを含むスピーキング研修、及びテーマ設定も業務にあわせた 16 回の E メールによる英文添削指導を行うビジネスライティング研修を実施した。

10. 学内の国際化推進体制の整備

全学で学内文書の英語化を進めており、2020 年度に引き続いて、2021 年度は下記のとおり 26 件の文書の英語化を実施した。

2021年度学内文書英語化、実施文書一覧	
No.	文書名
1	教員公募時の公募要項文言について
2	「獣医国際感染症学」シラバス
3	「共同獣医学研究科」学生授業評価アンケート設定項目
4	後期の授業実施について
5	公的研究費の不正に関する文書
6	博士学位に関する文書
7	研究者情報登録に関する文書
8	山口大学基金助成事業に関する文書
9	国立大学法人山口大学ソーシャルメディアポリシーについて
10	外国送金依頼書(給与)
11	兼務依頼書
12	復帰チェックリスト
13	安全・衛生と健康のてびき
14	健康診断案内
15	健康観察報告フォーム
16	健康診断項目(身長体重、血圧、視力)
17	定期健康診断 前年度からの変更点
18	新型コロナウイルスについて留学生への注意喚起
19	本学における新型コロナワクチン接種について
20	【第17報改訂】新型コロナウイルスに関する注意喚起
21	【第18報】新型コロナウイルスに対する注意喚起
22	吉田地区新型コロナワクチン接種WEB予約案内
23	職域接種
24	【改定案】健康観察表
25	寄贈された絵の紹介文
26	可燃ごみ分別の掲示例

11. 海外同窓会活動

2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、活動を実施しなかった。

第 2 章 2021 年度の留学生部門の活動

第2章 2021年度の留学生部門の活動

2021年度の留学生総数は359名（2021年5月1日時点）であり、新型コロナウイルスの影響もあり、前年度より約29名減少した（図1）。地域別ではアジア圏からの留学生数が上位を占めており（図2）、その中でも中国からの留学が最も多い（図3）。

交換留学に関しては、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学生の海外渡航を原則禁止していたが、2021年度は派遣先の感染状況、医療体制等を検証し、長期留学から海外派遣を再開した。受入については日本政府の水際対策により、交換留学生は受入を中止し、オンラインで授業を提供した。

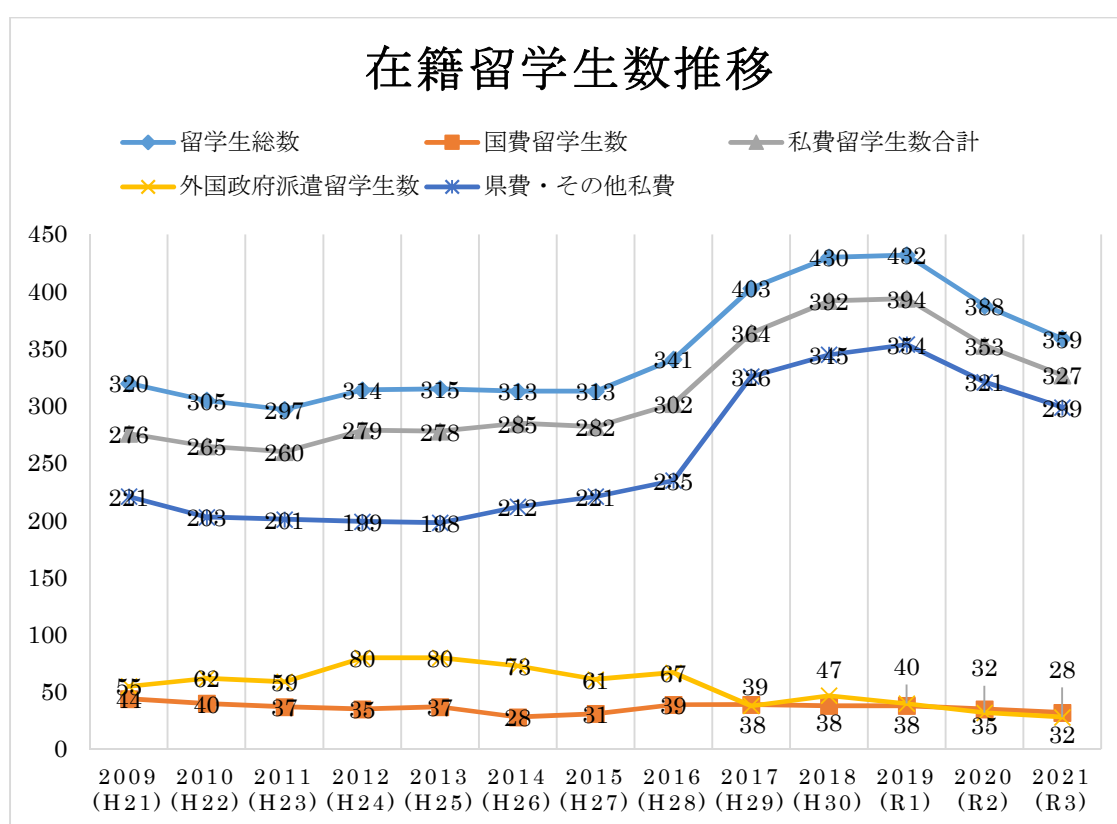


図1 在籍留学生数推移

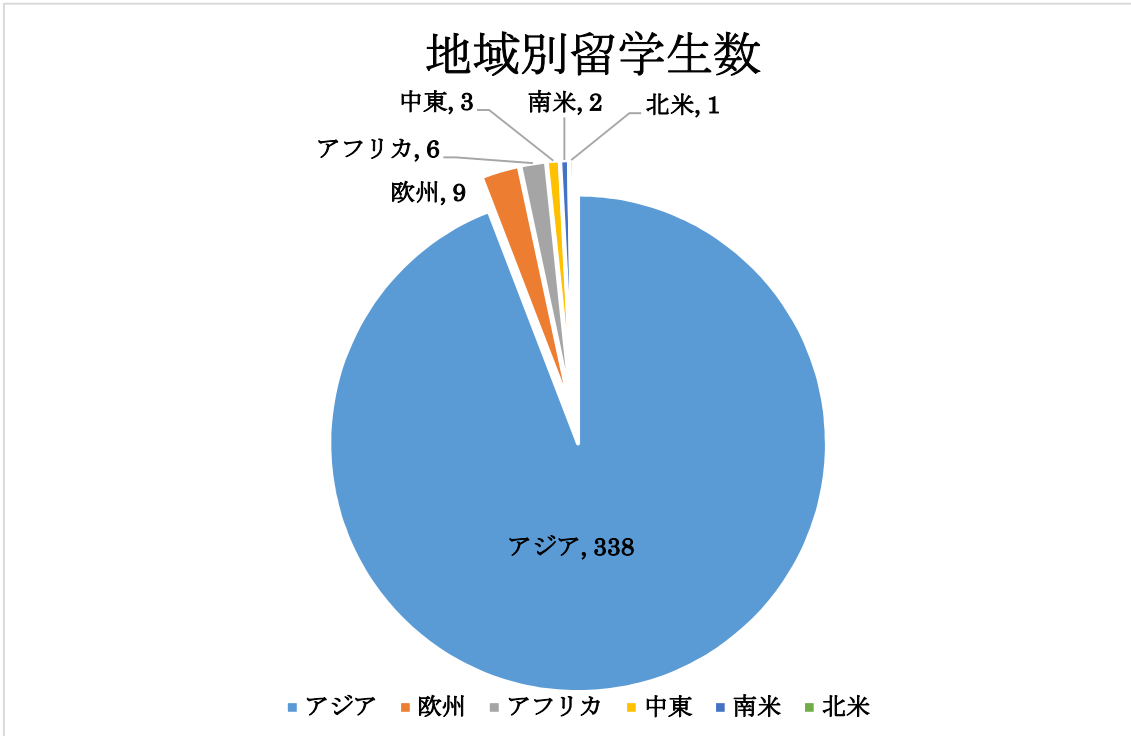


図2 地域別留学生数

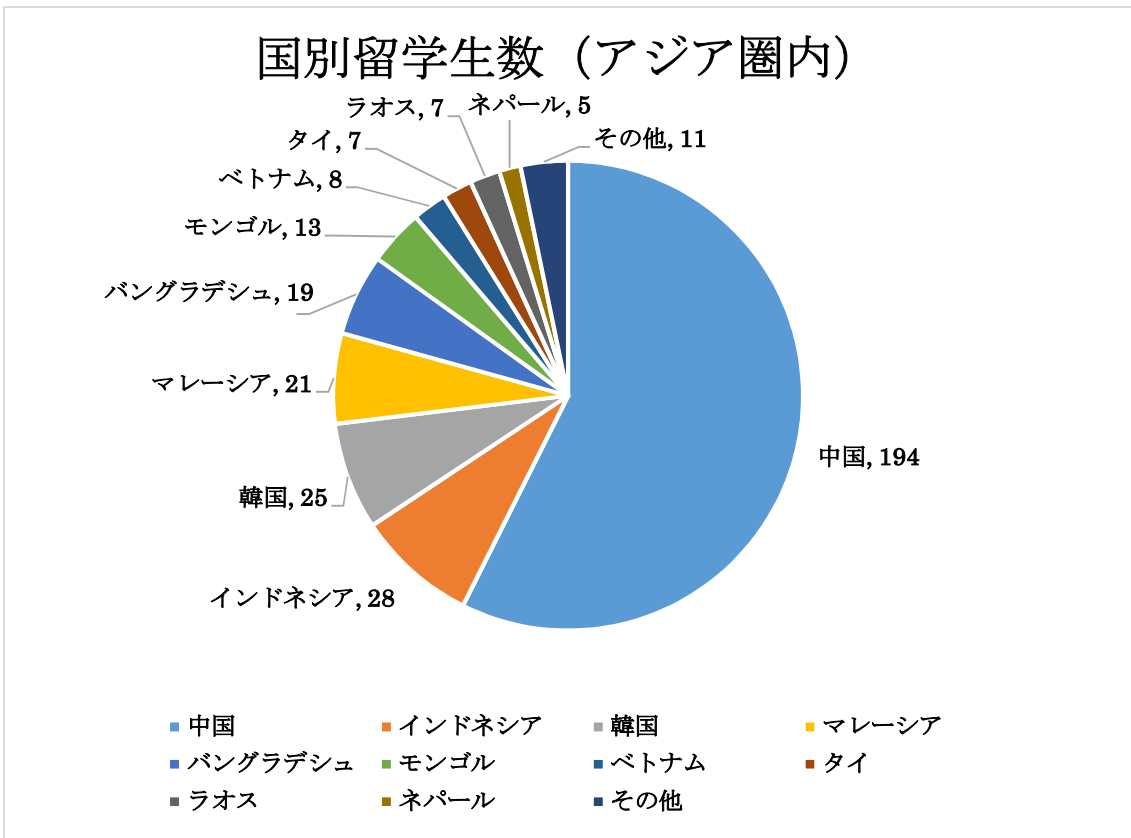


図3 国別留学生数（アジア圏内）

本学から海外へ留学した学生数

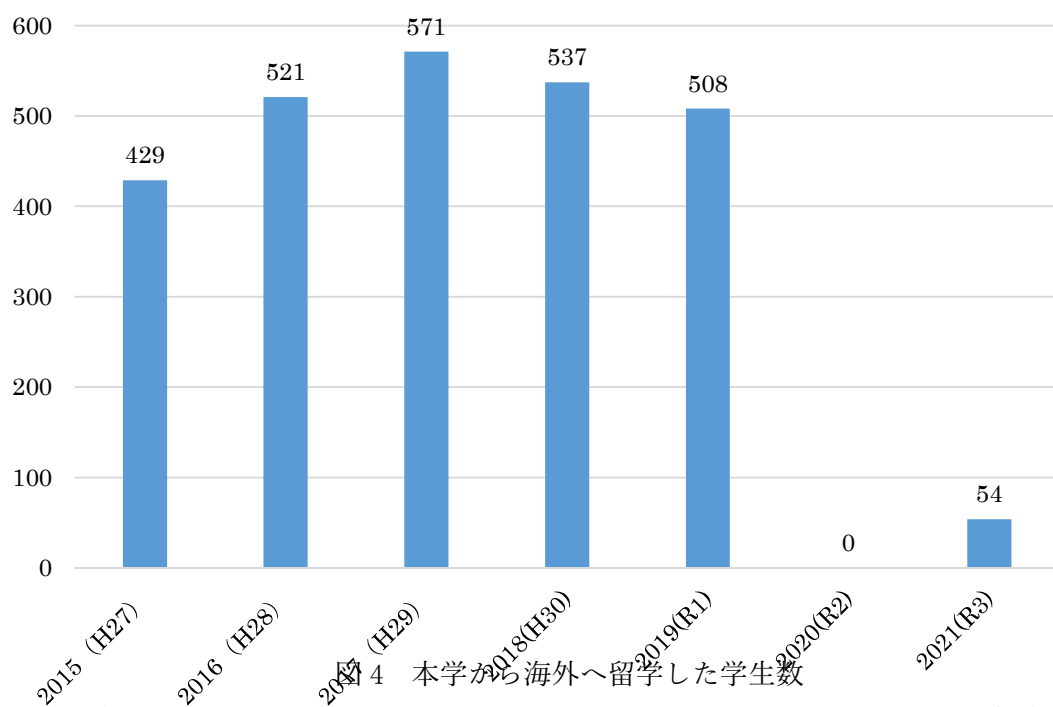


図4 本学から海外へ留学した学生数
(※独立行政法人 日本学生支援機構の「留学生調査」の集計基準に準ずる)

1. 留学促進のための環境整備

(1) IELTS 学内受験の実施

2019年度より、全学生を対象に IELTS の学内受験を開始し、2021年度は11月に実施した。新型コロナウイルスの影響により、一部の国への派遣留学を中止している状況であったが、52名の学生が受験した。

(2) 留学生サポーター活動

2018年度に立ち上げた「留学生サポーター」は、2021年度も前期50名、後期53名と、多くの学生が登録し活動した。2021年度は新型コロナウイルスの影響により、渡日できなかった留学生も多くいたため、そうした留学生に向けたオンラインでの交流の場を提供した。

また、来日できた留学生とは感染症対策を徹底したうえで、対面で交流活動を行い、コロナ禍での生活にもなじめるよう支援した。

(3) 留学支援学生団体「SOAR (Student Organization assisting Ryugaku)」の活動

2020年度より、山口大学で留学に興味のある学生や、留学を計画している学生を支援することを目的に、留学経験者で構成される学生団体「SOAR」が結成された。2021年度は、後述する留学フェア期間中、留学に関する情報提供及び意見交換を目的に合計5日間にわたる「RYUGAKU EXERCIZE」をオンラインで実施し、留学に興味のある学生に留学に関する情報提供を行うと同時に、個別の質問や相談に対応した。

また、海外の協定校の学生と日本語及び英語で交流するイベント「World Cafe」を実施し、派遣留学が中止されている期間中も、学生の留学に対するモチベーションを維持するために、海外の学生と交流できる機会を提供した。

2. 海外学生交流促進のための広報活動

(1) 日本人学生向けの留学フェアの開催

12月6日～12月17日に「留学フェア」を開催した。2021年度は留学経験者による留学体験談発表のほか、本学教員による青年海外協力隊の体験談発表等、幅広く海外体験について、情報提供を行った。また、留学へ向けた個別相談については SOAR と連携し、オンライン及び対面のハイブリッドで実施した。

3. 留学生センターにおける学生派遣

(1) 海外の協定校が実施する特別プログラム

海外の協定校からオンラインでの語学研修プログラムや、特別プログラムの紹介があり、本学の学生に修学支援システム等で周知した。台湾の静宜大学が実施した特別プログ

ラムは実際に現地に留学可能なプログラムであり、新型コロナウイルスの影響で留学が中止となった学生を中心に13名が参加した。

また、協定校が実施するオンラインプログラムに以下のとおり参加した。

ニューカッスル大学	1名
リジャイナ大学	1名
韓国外国語大学	1名
高雄師範大学	1名
北京師範大学	1名

(2) 海外派遣の再開

2020年度以降、新型コロナウイルス感染拡大のため、学生の海外渡航を原則禁止としていたが、2021年7月には派遣先の感染状況、医療体制等を検証し、長期留学から海外派遣を再開することを決定した。

これをうけ、2021年度は36名の交換留学生を派遣した。

第3章 2021年度の学術研究部門の国際交流活動

第3章 2021年度の学術研究部門の国際交流活動

独立行政法人日本学術振興会助成

1. 二国間交流事業共同研究・セミナー

独立行政法人日本学術振興会が実施する、個々の研究者交流を発展させた二国間の研究チームの持続的ネットワーク形成を目指し、我が国の大学等の優れた研究者（若手研究者を含む）が相手国の研究者と協力して行う共同研究・セミナーの実施に要する経費を支援する事業。

【研究課題】 細胞内寄生菌の感染機構におけるサーチュインの役割

【研究期間】 2021年4月1日～2023年3月31日

【山口大学実施部局】 共同獣医学部

【山口大学担当教員】 度会 雅久（教授）

【相手方機関名（国・地域名）】 Gyeongsang National University（韓国）

【相手方参加者】 Professor, Suk Kim

【事業概要】

共生関連因子の候補の一つとなっているサーチュイン（sirtuin）について、細胞内寄生菌の宿主内共生と増殖における役割を明らかにすることを目標としている。初年度となる2021年度は、サーチュイン活性化物質および阻害物質が細胞内寄生菌の宿主細胞内侵入・増殖機構に与える影響について解析を行った。新型コロナウイルスの影響により海外渡航が制限され、相互訪問は実施できなかったが、オンラインによる研究交流を実施した。

【得られた成果】

オンライン会議システムを用いて、細胞内寄生菌の病原因子解析に関するジョイントセミナーを開催し、その後研究交流会を行った。両大学の研究者および学生が参加し、研究内容に関する討論を行い、より効果的に共同研究を進めることができた。細胞内寄生菌の感染に影響を与える物質を複数見出し、感染制御における役割について発表した。

第4章 2021年度の各部局での国際交流活動

第4章 2021年度の各部局での国際交流活動

人文学部

オンラインによる国際会議・講演会等の実施

- 中国・日本・アメリカの学者による共著（呉佩林編）『清代地方档案中的政治，法律与社会』（北京：中華書局 2021年12月）を刊行した（本学部准教授滝野正二郎が「第九章南部県場市的設立与県衙」を担当）。

教育学部

オンラインによる学生国際交流プログラムの実施

- カナダと日本の小学校をオンラインで接続した遠隔教育の実施した。（2021.12.20，参加学生数3名，山口大学附属小学校児童35名）
- 異文化学習論の授業で台湾玄奘大学の学生と本学の授業受講生での共同プロジェクトを実施。初回と最終回の発表はZoomでリアルタイムでの合同授業で実施した。また，5月25日には玄奘大学受講生に対する講演を実施した。（2021.4.22-2021.5.20，参加学生数各30名）
- 国際理解教育演習の授業で，ドイツ，ブルガリア，スペイン，ポーランド，トルコ，アメリカの教員養成大学との合同授業を実施した。初回と最終発表はZoomで開催した。（2021.10.12-2022.1.10，山大からの参加学生数3名）

その他

- 本学と台湾・淡江大学との共同学術Webジャーナル「JEAI」(Journal of East Asian Identities)Vol.7をWeb公開した。山大サイド4本，淡大サイド4本の合計8本の論文を掲載している。（2022.3）
- 国際理解教育概説の授業で，山口県国際交流協会と山大留学生センターからの講師を招き，日本語支援を必要とする子どもへの「やさしい日本語」の演習授業を実施した。

経済学部

オンラインによる国際会議・講演会等の実施

- Smart Economic Planning and Industrial Policy を Ostim Technical University 等と共催した。（2021.10.13-15 参加者数約70名）
- 2021年度 JICA 青年研修「カンボジア／地方行政コース」を実施した。カンボジア政

府及び地方自治体の若手行政官が参加した。(2021.9.16-2021.10.1, 参加者数 17 名)

- 2021 年度 JICA 青年研修「イラク／地方行政コース」を実施した。イラク政府及び地方自治体の若手行政官が参加した。(2021.1.17-2021.2.1, 参加者数 9 名)

オンラインによる学生国際交流プログラムの実施

- 観光政策学科プロジェクト演習で、ハンガリーのカーロリ・ガーシュパール大学の学生とオンラインで現地調査・交流を行った。(2021.11-2022.1, 参加学生数 14 名)
- 観光政策学科のプロジェクト演習で、グアム大学の学生と比較調査・研究を行った。(2022.2, 参加学生数 2 名)

国内で国際感覚を育成する取組の実施

- Academic Year 2021 Joint Student Symposium on Tourism, Hospitality and Leisure Research を開催した。計 9 大学（山口大学, APU, 和歌山大学, 琉球大学, 関西学国語大学, 一橋大学, 成蹊大学, 北星学園大学, 玉川大学）から学部生, 大学院生, 教員合わせて約 100 名が参加し, グループ発表 12 件を含む計 47 件の口頭発表をすべて英語で実施した。山口大学経済学部から学部生 2 名, 経済学修士課程から 1 名が参加した。(2022.1.22)
- 信州大学と共催で, "The act for Eliminating Discrimination Against People with Disabilities' and Sports Tourism in Yamaguchi Prefecture" というテーマでユニバーサルツーリズムシンポジウムを実施した。(2021.10.25, 参加者数約 40 名)
- 山口大学と提携先のワイカト大学のクリスライアン教授を秋芳中学に招いて "Learning about Sustainable Cave Tourism" というテーマでオンライン交流イベントを実施した。(2021.7.13, 参加者数約 40 名)

理学部

オンラインによる国際会議・講演会等の実施

- 分子強誘電体に関する日中国際シンポジウム。(2021.12.21, 参加者数 100 名)
- 5th International Workshop on Rock Mechanics and Engineering Geology in Volcanic Field (RMEGV2021) (2021.9.9-10, 参加者数 76 名)
- ブラビジャヤ大学 (インドネシア) の学生にオンライン講義を実施した。(2021.9.1-3)

医学部

オンラインによる国際会議・講演会等の実施

- City of Hope (米国) 山口陽子教授を招聘し、基盤系特別専門講義「基礎科学研究の推進、その結果としての医薬品開発?それとも、医薬品開発のための基礎科学研究?」を山口大学小串キャンパスで対面にて開催した。(2021.10.07 参加者数 110 名)
- City of Hope (米国)山口陽子教授 UCLA (米国)玉野井冬彦教授、玉野井麻利子教授を招聘し、YU-COH Biomedical Research Partnership 4th Anniversary(Symposium will be held at YU online access will be provided)の国際シンポジウムと Meet & Discuss with the Professors, Meet the International Young Investigators を山口大学小串キャンパスで対面とオンラインのハイブリッドにて開催した。(2022.2.28-3.1, 参加者数約 100 名)
- Toledo 大学 (米国) との医工連携講義交流、海外留学医師との交流。『グローバル時代に医師が海外留学する意義』(2022.8.21, 参加者数 33 名)『女性医師の海外留学』(2022.9.23, 参加者数 23 名)『Medical devices developed from simulations』(2022.12.16, 参加者数 30 名)

オンラインによる学生国際交流プログラムの実施

- タイ・チェンマイ大学看護学部主催オンライン学生プログラムに参加した。(2021.7.17, 参加教員・学生数 6 名)
- アジア・太平洋地域看護・健康科学リーダー育成連携 APAHL オンライン・フォーラム(全 4 回)を実施した。(2021.9.18, 11.6, 11.20, 12.4, 参加教員・学生数 449 名)
- 医学科自己開発コースにおいて、ローザンヌ大学 Neuro-heuristic グループ教授による遠隔指導という形でオンライン留学を遂行した。(参加学生数 1 名)

国内で国際感覚を養成する取り組みの実施

- 英国・バース大学からの医学部医学科短期研究プログラム: 英国・バース大学から 2 名の学生をシステムズ再生・病態医化学講座で受け入れた。(2021.1.5-2021.9.30, 参加者数 2 名)
- 8th Japan-China Symposium on Nanomedicine(オンライン)において医学科学生 1 名が発表を行った。(2021.6.11)
- YU-COH Biomedical Research Partnership 4th Anniversary(Symposium will be held at YU online access will be provided)での Meet & Discuss with the Professors, Meet the International Young Investigators 等においては医学部医学科学生(5 名程度)

や宇部市内高校生の参加(4名程度)があり,海外留学等についての相談などが行われた。
(2022.2.28)

その他

- 自己開発コース・オンラインミーティング: 海外オリジナルコースでの米国留学に向けて City of Hope (米国)の受け入れ予定の研究者らとのオンライン面談を行った。研究内容の説明と質疑応答・情報交換を行い,受け入れ承諾となった。(2021.6.9, 2021.11.21, 参加学生数1名)

工学部

オンラインによる国際会議・講演会等の実施

- 第2回バリの水環境保全に必須な水質と廃水処理の基礎知識の修得。(2021.9.6-8, 参加者数約375名)
- 群山大学と13th Joint Seminarを実施した。(2021.9.16, 参加者数約50名)
- The 2nd International Seminar on Disaster Prevention and Environment (2021.9.28, 参加者数66名)
- Women Scientists Working on Membranes (2021.10.5, 参加者数30名)
- International Special Lecture by Professor Kenichi Soga of University of California Berkeley, USA (2021.11.1, 参加者数60名)
- The 2nd UTHM-YU Joint Seminar 2021 (2021.11.19, 参加者数64名)
- International Special Lecture by Dr. Nazli Hanson, California Polytechnic State University, Cal Poly. The USA (2021.11.24, 参加者数約60名)
- The International Conference on Geotechnical and Geoenvironmental Engineering between YU and UMP (2021.12.1, 参加者数60名)
- International workshop on membrane technology (2021.12.9, 参加者数28名)
- 6th International symposium on Green and Smart Technologies for a Sustainable Society (2021.12.9-10, 参加者数約90名)
- International Conference of Innovative Application Research2021 (2021.12.18-21, 参加者数159名)
- International Special Lecture by Dr. Shun Uchida of Rensselaer Polytechnic Institute, New York, USA (2022.2.2, 参加者数約50名)
- 第3回バリの水環境保全に必須な水質と廃水処理の基礎知識の修得。(2022.2.7, 参加者数59名)
- The 2nd International Alumni Online Seminar on Disaster Prevention and Environment (2022.3.7, 参加者数64名)

- Roundtable Discussion on Digital Competencies for Information Literacy (2022.3.8, 参加者数 12 名)

オンラインによる学生国際交流プログラムの実施

- Summer Program for Innovative Engineering Design (SP!ED) 2021 (2021.8.20-26, 参加者数 79 名)
- KU-International Virtual Exchange Programme (2021.8.21, 8.28, 9.4 (全 3 回), 参加者数 2 名)
- 第 18 回 Young Scientist Seminar (2021.11.27-28, 参加者数 163 名)
- Creative Engineering Design Competition2021 (2021.12.18-21, 参加者数 : 159 名)
- Virtual Reality を活用したオンライン語学留学 with The University of Sheffield (2022.1.24-3.18 (週 2, 全 16 回), 参加者数 4 名)
- JST さくらサイエンスプログラムにおけるマレーシア・トン・フセイン・オン大学 (UTHM) とオンライン交流した。(2022.2.17-3.3, 参加者数 6 名)

国内で国際感覚を育成する取組の実施

- ウーロンゴン大学 (オーストラリア) が実施するオンライン留学説明会の開催。(2021.6.15, 参加学生数 1 名)

農学部

オンラインによる国際会議・講演会などの実施

- 第 18 回 Young Scientist Seminar (YSS) をオンライン開催した。(2021.11.27-28, 参加学生等 (若手研究者含む) 163 名)

学生国際交流プログラムの実施

- さくら招へいプログラム代替オンライン交流 (テーマ「熱帯性環境生物資源を用いた情報科学研究に関する国際連携ネットワークの構築」) を国立開発研究法人科学技術振興機構 (JST) 「さくらサイエンスプラン」の支援により, 6 か国 (タイ, ベトナム, インドネシア, 台湾, スリランカ, ミャンマー) の学術交流協定校である 18 大学から計 98 名の学生・教員・研究員を受講生とする遠隔国際交流プログラムを実施した。さらに, 交流会では多彩な交流を企画・実行した。(2021.10.9-11.29, 参加者数 98 名)

国内で国際感覚を養成する取り組みの実施

- 国際連携農学生命科学専攻ジョイント・ディグリー・プログラム (JDP) の講義の一部を、Moodle を利用して遠隔で実施した。(2021.10-2022.03, 参加学生数 1 名)

その他

- 協定校のカセサート大学と第 7 回重点大学シンポジウムをオンラインで開催し、農学部から 3 名の教員が、国際交流課から 1 名の職員が口頭発表した。(2022.2)

共同獣医学部

オンラインによる国際会議・講演会等の実施

- The 6th AJIVE (Association of Japan-Indonesia Veterinary Education) Symposium を山口大学が主催し、オンラインで開催した。(2022.2.11, 参加者数約 350 名 (含 インドネシア国内から 42 名, 日本国内から 23 名の発表者))
- 令和 2 年度大学教育再生戦略経費「大学の世界展開力強化事業～アフリカ諸国との大学間交流形成支援～」ワークショップを開催した。(2022.2.24～3.8 (計 4 回), 参加者数 24 名)

オンラインによる学生国際交流プログラムの実施

- イギリス・エジンバラ大学医学・獣医学部と山口大学共同獣医学部との双方向交流に向けたオンラインワークショップをオンラインで開催した。(2021.10.28, 参加者数約 30 名)

国内で国際感覚を養成する取り組みの実施

- カリフォルニア州立大学 UC Davis の食品安全研究所が主催する UC DAVIS EDUCATION CONFERENCE ON ONE HEALTH FOR FOOD SAFETY, AGRICULTURE, AND ANIMAL HEALTH (Web 開催) に本学学生が参加した。(2021.7.26-2021.8.6, 参加学生数 2 名)

その他

- 共同獣医学研究科が主催する獣医学共通ゼミナールにおいて、大学院生が「学生企画セミナー」を企画・運営し、その中でアイルランガ大学教授, 及びバングラデシュ農業大学教授によるオンライン講演を行った。

国際総合科学部

オンラインによる学生国際交流プログラムの実施

- 交流協定を締結している連携大学等の教員によるオンラインセミナーの実施
 - ①The Pacific Connection and Hawaii 講師 Dennis Chun, Kyoko Ikeda-Chun (ハワイ, カウアイ・コミュニティ・カレッジ) (2021.12.13, 参加者数 23 名)
 - ②Culture and Education in Indonesia 講師 Dr. Putu Ayu Asty Senja Pratiwi (インドネシア, ウダヤナ大学) (2021.12.17, 参加者数 21 名)
 - ③中国における日本語教育事情 講師 郭玲玲 (中国, 山東農業大学) (2022.1.7, 参加者数 26 名)
 - ④日本語と韓国語 講師 申媛善 (韓国, 延世大学) (2022.1.14, 参加者数 22 名)
 - ⑤Autonomous driving in Germany - Empirical aspects on the status-quo (ドイツにおける自立運転 現状への実証研究的洞察) 講師 Prof. Dr. Stefan Wengler, Business Department, Hof University / Germany (2022.1.21, 参加者数 25 名)
 - ⑥ルーマニアの文化とルーマニア語 講師 シオン・アンドレア (ルーマニア, ヒペリオン大学) (2022.1.26, 参加者数 21 名)

学生国際交流プログラムの実施

- 例年実施している1年次のフィリピン短期語学研修が中止となったことを受け、株式会社 QQEnglish が提供するオンラインキャンパス留学を実施した。(2021.8.30-2021.9.24 参加者数 59 名)
- 海外留学中の本学部生によるオンライン留学報告会の実施
 - ①ドイツ (ホフ大学), フランス (リール大学) (2022.3.7, 参加者数 27 名)
 - ②米国 (オクラホマ大学), 韓国 (ソウル大学校) (2022.3.14, 参加者数 22 名)
- 学生のオンライン交流イベントの実施
 - Go Project Yamaguchi - Introducing Student Life in Yamaguchi (日本語セッション/英語セッション) 本学部の学生が取材した山口の観光スポット等のビデオを上映し, 協定大学の学生と懇談した。(2022.3.26, 参加者数約 70 名)
- 海外で日本語を学ぶ留学生とのオンライン交流イベントの実施
 - ①カーロリ・ガーシュパール大学 (2021.11.3, 参加者数 12 名)
 - ②山東農業大学 (2021.12.24, 参加者数 24 名)

国内で国際感覚を養成する取り組みの実施

- 派遣留学が中止となった 2 年生を対象に、留学予定先の地域の現地言語を学ぶ「グローバル・コミュニケーション演習」、国際社会で活躍するための知識・技能の修得を目指す「科学技術論演習」の特別プログラムを開講した。(2021 年度後期実施, 総科目数・参加者総数 5 科目・51 名)
- 「グローバル E コマース-eBay を通じたボーダレスな商取引の最新動向」
講師 岡田雅之 (eBay Japan 代表取締役社長, 本学経済学部 OB) の講演会 (「グローバル E コマース-eBay を通じたボーダレスな商取引の最新動向」
講師 岡田雅之 (eBay Japan 代表取締役社長, 本学経済学部 OB) (2021.12.10, 参加者数約 50 名)

東アジア研究科

オンラインによる国際会議・講演会等の実施

- オンライン講演会「曲阜師範大学翻訳学院学術報告会」において、森野正弘研究科長が「《源氏物語》光源氏の恋愛観—与夕顔的刹那的恋愛—」と題する講演を行った。(2021.6.25, 参加者数 144 名)

学生国際交流プログラムの実施

- オンライン国際会議 (主催: スイスのチューリッヒ大学) 「TIMEJ Online Conference」において、森野正弘研究科長が“Case Study: Time Awareness of Court Ladies as Projected on the Year's First Singing of the Bird hototogisu (Lesser Cuckoo)”と題する研究発表を行った。(2021.8.18-20, 参加者数 24 名)

その他

- 2020 年 11 月 27 日に行った「東アジア国際学術フォーラム」の成果物として、『東アジア 文化の歴史と現在』(山口大学大学院東アジア研究科 東アジア研究叢書 6, 東アジア研究科編著, 森野正弘・富平美波 編集責任, 2022 年 2 月)を白帝社より刊行した。

技術経営研究科

オンラインによる国際会議・講演会等の実施

- International Conference on Management in Emerging Markets（主催大学：バンドン工科大学，山口大学）（2021.8.11-13，参加者数約 300 名）
- MOT 国際シンポジウム（ISAME2021）（2021.9.1-2，参加者数約 115 名）